

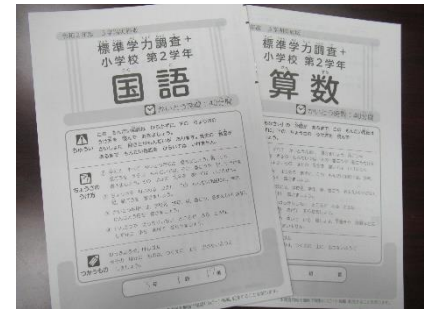


学力を上げたい！

のっけからストレートな物言いで申し訳ありません。今週お子様方が持ち帰られた、12月実施の学力検査の結果、ご覧になられたでしょうか。残念ながら、芳しいものではありませんでした。

正直、日頃の子どもたちの学びの様子を見ているとよく頑張っていただけに、学校としてもショックな結果でした。なぜなのでしょう？

そこで、私たちなりにその理由を考えてみました。



1 最後まで粘り強くやり遂げる集中力や根気がない。

「わからない問題に出会ったときに、すぐにあきらめてしまい、その後の問題まで投げ出してしまおう」子どもたちがいるとのこと。粘り強く解く集中力・根気・体力が必要です。

2 せっかく学んだことが、定着していない。

たくさんのことを学び、基礎・基本の力をつけても、問題に出るのは一単元から1、2問程度。学んですぐはできていたのに、時間がたってしまうと、定着していないのです。特に算数の基礎的な事項は繰り返し繰り返し取り組むことで、すらすらとできるように身につけていきます。

3 「生活の中で生かす力など考える力」が育っていない。

今年度から始まった新しい学習指導要領が目指す学力は「生活の中に生かす力」が求められています。せっかくできるようになったことを、実際の生活場面で考える力が要求されているのです。裏面に2年生算数の問題を載せています。ぜひ、解いてみてください。生活力が高く、普段から自分で物事を考えるお子様は解くことができますが、学校の授業は一生懸命頑張っても、普段自分で考えず、言われたことのみをする傾向のお子様は、情報を整理することが難しいようです。

4 問題に慣れていない。

問題は、いつもの単元テストのように1枚に収められておらず、冊子です。つまり、あとどれだけ、と見直しをもって取り組むことが、慣れていないので大変難しいです。しかも、冊子の最後のほうほど難しく複雑な思考を伴うものですので、一見読んだだけではなかなか解けません。一番くたびれているときに、一番難しい問題に取り組むことになってしまいます。また、前のほうの問題で苦戦してしまうと、時間も無くなってしまいます。「問題の解き方」という技術が身につけていないものと思われるます。

5 自信がない。なので目標を持たない。

学校評価の回答で感じましたが、本校の子どもたちは学力に関して自信を持たないようです。その自信のなさが、問題を解く力にも表れていると感じます。日頃の授業では、わからないとすぐに先生に聞いて教えてもらったり、ヒントをもらったりできます。普段から「自分一人で何とかする力」を養わないと、自信がなくて、粘り強く解こうという気持ちになれないようです。

また、自信がつくと、「よし、〇〇点とるぞ」という風に、自分の目標ができてきます。自信がないと受け身のままです。何とか自信をつけてあげたいものです。

ご家庭でも学力向上のご協力を

以上のように、学校でも、まだまだ子供たちのためにがんばらないといけません。しかし、定着にはご家庭のご協力が不可欠です。子供たちのために、是非力をお貸しください！今回は紙面が足りませんので、次回家庭学習について特集してお伝えしたいと思います。

ご家庭の皆様も、2年生の問題にレッツチャレンジ！

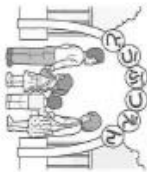
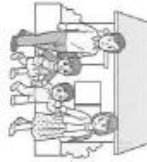
2年生の後半に出てくる問題です。ご家庭の皆様も解いてみてください。大人にとっては何でもない問題ですが、実際に生活場面で様々な経験がないと、問題を読み取りイメージするのは、子どもたちにとって難しいのですね。

こたえは ペつに くぼる かいどうようしに かきましよう。

14

ゆいさんは、日曜日(に) どうぶつ園(へ) 行(い)きました。

家(を) 出(で)る → どうぶつ園(へ) 行(い)く → どうぶつ園(を) 出(で)る



午後3時に どうぶつ園(を) 出(で)るよ。

(1) どうぶつ園(へ) 行(い)くと、つぎの ような かんばん(が) あり(ま)した。

どうぶつ ふれあいたいけん

- うさぎや モルモットと 30分間 あそべるよ!
- 1回目 午前10時
- 2回目 午前11時30分
- 3回目 午後2時
- 4回目 午後3時30分



できるだけ ふれあいたいけん(に) 行(い)きたいな!

ゆいさんは、どうぶつ園(へ) 行(い)る 間(かん)に、何回(いくばく) ふれあいたいけん(に) 行(い)く こと(が) でき(ま)したか。答(こた)えは 1~4から 1つ えらんで、その 番(ばん)ごう(を) 書(か)きましょう。

- 1 1回
- 2 2回
- 3 3回
- 4 4回

(2) ゆいさんは、帰(かえ)りに、どうぶつ園(を) 絵(え)はがき(を) 1まい 買(か)う こと(に) し(ま)した。

絵(え)はがきは 1まい 43円(です)。

ゆいさんの おさいふ(には) 50円玉 1まいと 1円玉 3まいが 入(い)って います。



ゆいさんの はらひ方(が) 50円玉を 1まい 出(で)します。

50 - 43 = 7だから、

おつりは、5円玉 1まいと 1円玉 2まい(です)。



おつりを もらうと、1円玉(が) たくさん(に) なるよ... おつりの まい数(を) 少な(く) した(い)な。



お金の 出(で)し方(を) くふう(す)ると いいよ。



どの よう(に) お金(を) 出(で)すと、おつりの まい数(が) 少な(く) なり(ま)すか。ゆいさんの はらひ方(の) よう(に)、ア、イに あて(は)まる 数(や) しき(を) 書(か)ま(し)よう。

くふう(した) はらひ方

50円玉を 1まいと 1円玉を 3まい 出(で)します。



おつりは、10円玉 [ア] 1まい(です)。